

# 平成27年度第3回 区政モニター会議 会議録（要旨）

平成27年10月27日（水）

（昼の部）午後2時～午後3時38分

区役所別館6階A会議室

- 1 広報課長あいさつ
- 2 テーマ 「中央区の子育て支援施策について」  
概要説明 子ども家庭支援センター所長

## 中央区の子育て支援施策について

中央区では都独自の制度のもと、子ども家庭支援センター（以下、センター）を設けて、センターを核として家庭における子育て支援に努めています。センターでは、子育てに関する総合相談の受付から始まり、子育て交流サロン「あかちゃん天国」、一時預かり、トワイライトステイ（帰宅が遅くなる家庭のお子さんを午後10時まで預かるサービス）、児童館8館の運営など、子育てに関する施策を広く行っています。具体的な活動においては、センターだけではなく、児童相談所や病院などとも連携して行っています。

中央区では最近、出生数が急激に増えていて、年1,800人程度になり、保育園や学校の教室の不足などが指摘されていることは区も認識しています。そこで将来、区の担い手になるお子さんたちが健やかに育ってもらうため、センターをはじめとする区の子育て支援策に関するご意見をいただければと思います。

意見 病児・病後児保育が区内3カ所で年1,800人程度もいて、結構多いなと思った。

意見 実際に施設見学して、職員の方がお忙しそうにされていて、大変なお仕事だなと思った。出生数が急激に伸びているのだから、職員の数も増やしていかないと、そのうちパンクしてしまうのではないかと心配になった。

意見 公園や隅田川テラスで夕方遅くまで遊んでいるお子さんをよく見かける。これらの子が安心安全に遊べるためにも学童保育や児童館の充実が必要だと思う。

質問 「あかちゃん天国」にいる子育て見守りサポーターは、元幼稚園の教諭等、経験者になるのか。

子ども家庭支援センター所長（以下、所長） そうではなく、区のシルバー人材センターから派遣されている方たちだ。毎日、人材を確保しなければいけないため、シルバー人材センターに委託している。ただし、現場には保育士2名を必ず配置している。

意見 病児・病後児保育の利用件数が最近、横ばいであるのは利用しにくいから

ではないか。ここは子どもの急な発熱等にも対応できるヘルパーの派遣及びその費用の助成という制度にしたほうが家庭のニーズに合致すると思う。

意見 女性の相談窓口や子育ての相談窓口などがあるが、本人がどの分類に相談すべきか判断が難しいと思うので、相談しやすい窓口のあり方や広報方法を検討してほしい。

意見 一時預かりをインターネットで気軽に予約できればいいなと思う一方で、子ども個々に違いがあるから、安易にネット予約するのも問題があるのかなと思ひもする。しかし、子どもが複数いる場合には申し込みに行くことが大変な日もあり、何かいい方法を検討してほしい。

質問 最近の虐待に関する相談の傾向は。

所長 身体的暴力に関する相談が多い。そして、これは私個人の感覚だが、他区では小さいお子さんの相談が多いが、中央区では小中学生の相談が多い傾向にあるような気がする。また統計で見ると、中央区は23区のうち、子ども人口に占める相談の割合は20番目と少ないほうである。ただ、これは問題を抱えていても相談がないだけなのか、慎重に見る必要がある。

意見 日本橋地区は京橋地区に比べ人口も多いのに、センターの日本橋分室はとても狭小だった。やはり人口に見合った規模の施設をつくり、利用しやすいところにつくる努力をしてもらいたい。

質問 学童保育は、学校でやるということは考えられないのか。

広報課長 学校では、プレディという放課後の子どもの居場所を提供している。

所長 プレディは登録制。学童保育か、プレディかのいずれかが申し込めるようにはなっている。

質問 一時預かりなど、区民は知っているのか。

広報課長 保育園を通して、広報紙を通して、事業の内容はご案内している。今の保護者の方は、多くがインターネットを利用し、ホームページ等で情報収集していただいている。また、母子手帳をお渡しする際に、区のサービス案内を一式お渡しし、必要に応じていろいろなサービスを紹介している。

質問 中央区は、専業主婦と共働きのお母さんの比率はどのくらいか。

広報課長 世論調査では、それについて調査していない。

意見 一時預かりも保育園のように民間委託をやる必要があるのではないか。

意見 私の感覚が古いのかもしれないが、トワイライトステイで午後10時まで小学低学年の児童を預けられるようにするのは少し親に甘過ぎるような気がする。子育て支援策がとても充実しているように、高齢者介護事業も充実してくれればいいなと思う。

所長 トワイライトステイは必要時に限り受けられるサービスで、最大午後10時まで利用できる。実際は午後7時には迎えに来るなどいろいろな時間での利用形態がある。

意見 緊急一時保育や病児・病後児保育のサービスが充実していて、今の親がう

らやましいと思った。ただ、病児・病後児保育については、出勤前に子どもを預けられるように午前9時以前から受け付けたほうがいいのではないかと

意見 子どもがいると必要に応じて自分で調べるので、大抵のお母様は中央区のシステムを大体ご存知と思う。

意見 「あかちゃん天国」を利用しているが、こういう交流の場があることで、子育て中の母親も外出するようになる。また交流する中で何か問題があり、相談や行政の支援が必要そうな人の発見にもつながると思う。

意見 子どもを病後児保育に預けたいような場合、午前9時からの受付では利用しにくい。特に指定病院・施設から遠い方はそうだろう。その場合、ファミリー・サポート・センターの利用が必要になってくる。民間団体・会社を含め利用しやすい方法があればいいなと思う。

質問 被虐待「等」相談件数のうち、本当に虐待に当たるのは何件か。

所長 被虐待等相談件数の内訳は、平成26年度の場合、虐待の相談が119件、養育困難が45件だった。虐待に関する相談のうち、一時的な激しい叱責・暴力ではなく、常習性があり、本当に虐待に当たるのは47件だった。

意見 トワイライトステイの場所を見学したが、床は冬には寒々しいなと感じた。例えば畳にして、冬にはこたつを入れるなど、季節感を持った場所にして、温かく子どもを迎えられたらいいなと思った。

所長 子どもが踊ったり運動するのに広く使えるようにしている。あの場所は床暖房となっている。季節感の演出には努力しているが、さらに気を配るように伝えておく。

質問 トワイライトステイの料金、1回2,000円は高くないか。

所長 他区の例などを見ても、それほど高いとは思っていない。

意見 中央区の親、特に母親の皆さんは意識の高い人が多く、センターが行う各サービスを認知し、利用していると思うが、やはりそこまで意識の高くない方もいるので、これらの方にも周知が浸透するような方法をさらに考えていただきたい。

所長 ご指摘のとおり、センターとしても、センターの存在やサービスについてはまだ広報が必要だと思っている。そのため、今年については、児童館のイベントを機会に宣伝し、センターや各サービスに関する認知度を高めていきたい。

所長 いろいろなご提案、これは重々承知している。今のところは現状の範囲でやっていきたいと思うが、今後もサービスの安全性と利便性のバランスを見ながら検討を続けていきたい。

質問 センターの業務をしていて、限界を感じることはあるか。

所長 虐待対応に関して児童相談所のような法的権限がない。警察のように立ち入る権限はなく、一時保護所も区ではないため対応できないときに限界を感じる。

意見 センターの下にある保育園にお子さんを預けに来る母親たちが自転車を物すごい勢いで乗ってきて、隣接する敬老館を利用する高齢者の方が時々、危ないと感じることがある。センターからも注意喚起をお願いしたい。

所長 保育園をはじめ、関連部署に伝えておく。

質問 一時保育の受付開始時間を午前9時から早めることはやはり無理か。

所長 お預かりするお子さんの状態、送る人・迎えに来る人の確認等々、細かな準備作業が多く、午前9時開始が最大配慮できる時間と思っている。

質問 一時保育の稼働率ほどの程度か。

所長 稼働率の計算をするのは現実的に困難である。ただ、一般的には1日当たり約35人が一つの目安かなと思っている。土日は10人台であり、余裕はある状態である。

質問 保育園では、一時預かりは臨時でできるのか。

所長 保育園によっては、その園に通っている人に対しスポット利用はある。

意見 高齢者の場合、行政に相談しやすい環境が比較的整っているように思うが、子育てだとなかなか難しいように思える。もっと相談しやすい環境づくりができればいいと思う。

広報課長 高齢者の場合、本人からの相談のほか周囲の人からの相談も受け、おとしより相談センターから家族へアドバイスをしたりする仕組みになっている。子育ての場合もそうしようと、例えば「あかちゃん天国」をやり始めた。

所長 高齢者よりも子育ての場合のほうが、周りの目が気になり、相談しにくい環境にあるのかなと思う。センターとしては、配置している保育士に、気になる方については継続して見守るように努めている。また、いざ相談の段階に移ろうとする場合にも、来所がいいのか、こちらから訪問がいいのか、その辺は調整している。

意見 「あかちゃん天国」、さらさら中央などさらに周知をしていただきたい。

意見 区外から来た方には、区役所の1階の窓口にて区のサービスの資料を置いておくと、目につくのではないか。

広報課長 わたしの便利帳を転入のときには必ずお渡ししている。多くの方は、保育園の状況を調べた上で転入している。

質問 中央区の年代別の人口は。

広報課長 30代、40代が最も多く転入されている。75歳以上の高齢者も、10年ぐらい前までは23区で高齢化率が最も高い区だったが、今は最も低い区になった。高齢者が減ったためではなく、転入により30代、40代が増えたため。

意見 若い方が入るといことは、保育園の問題が出てくるということだ。

広報課長 保育園のニーズや学校のニーズは、これから区にとってとても大きな課題だと思うが、都心3区が大体そういう傾向にある。

— 了 —